

野田市心身障がい者福祉作業所指定管理者
候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時	令和2年2月13日（木）午前9時30分から午前10時15分まで
開催場所	野田市役所5階 512会議室
出席委員	副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、保健福祉部長、管財課長
欠席委員	行政管理課長
事務局	障がい者支援課、行政管理課

1 開会

<委員長から開会の言葉>

2 議事

(1) 令和元年度(4月～12月)野田市心身障がい者福祉作業所業務報告書及び令和2年度野田市心身障がい者福祉作業所業務計画書の審査について

<事務局から令和元年度(4月～12月)業務報告書及び令和2年度野田市心身障がい者福祉作業所業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

○ 業務報告書1ページの個人情報保護のための方策について、職員用のマニュアルのようなものはあるか。

→ 法人で定める個人情報管理規程があり、職員には周知徹底している。

○ 業務報告書1ページの個人情報保護のための方策について、個人情報の保管方法を具体的に教えてほしい。

→ 個人情報を含む文書等については、鍵付きのロッカーに保管することとしており、常時施錠し、使用の都度に解錠している。利用者及び職員の経済的な情報などについては、所長及び副所長に限り取り扱うものとし、通常は法人本部事務局にて情報管理を行っている。利用者の個人情報を取り扱うパソコン端末は1台に限定しており、スタンドアロンでの運用を行っている。

○ 業務報告書1ページの要望及び苦情への対応について、苦情受付窓口とはどのようなものか。また、業務報告書8ページの要望及び苦情対応に記載がないが、苦情受付窓口及び保護者アンケートに寄せられた要望や苦情があったときの対応状況はどうなっているか。

→ 苦情受付窓口は、所長及び副所長を受付と定め、利用者及び保護者等からの苦情を最初に受け付ける役割を担っている。要望等については、法人の事業に対す

る要望はあったが、野田市心身障がい者福祉作業所に対するものはなかった。

- 業務報告書 2 ページの現金の取扱い等の経理処理が適切に行われるための方策について、内部監査委員会のチェック結果はどのようなものだったのか。
 - 内部監査の結果は特に指摘事項がなかった。各種書類は適切に保管され、物品の購入及び修繕において規程に沿った決裁による手続きが行われている。小口現金は帳簿と現金が一致しており問題がない。

- 業務報告書 3 ページの地元住民の雇用について、市民の雇用割合はどれくらいか。
 - 職員については、20人中19人で95%が野田市在住である。

- 業務報告書 8 ページの法定点検について、担当課でチェックしているか。
 - 電気保安点検は、毎月委託業者より直接報告を受けている。浄化槽、空調、消防設備の点検結果は結果報告書の提出を受けている。

- 業務報告書 8 ページの事故、要望及び苦情対応状況について、いずれも自動車事故だが同じ職員か。また、事故以外の要望や苦情はなかったのか。
 - 2 件の事故は別の職員である。事故以外の要望等はなかった。
- 今後の事故防止策として何を行っているか。
 - 朝のミーティング時に、事例を引き合いに出しながら運転業務における注意喚起を行っている。また、令和 2 年 2 月に野田市の交通安全講習に参加した。

- 業務報告書 11 ページの収入について、利用料金収入減の理由はどのように分析しているか。
 - 6 月から生活介護の 1 人が施設入所となり退所した。8 月から生活介護の 1 人が手術のため長期入院しており、復帰時期は未定である。これら 2 人分の収入が減少していることが大きいと考える。

- 業務報告書 11 ページの収入について、利用者作業収入が予算比増額見込となっているが、作業内容別の収入額はいくらか。
 - 1 2 月末までの令和元年度実績は下請作業 5 1 8, 2 7 0 円、自主生産品及び野田市からの受託作業で 1, 1 4 6, 8 6 9 円だった。1 0 月に野田市保健センターから材料費含めて 4 0 万円弱の作業依頼があったため、予算額を上回る見込みとなった。
- 野田市保健センターからの作業依頼は受託作業の中に含まれているか。
 - 野田市からの受託作業に含まれている。

- 業務報告書 11 ページの支出について、人件費の減額理由は何か。
→ 生活介護における人員配置で常勤 1 人、非常勤 1 人が当初計画より少ないためである。
- 業務計画書 4 ページの委託実施計画について、内容が同じにも関わらず委託料が令和元年度実績見込比で増額になっているのはなぜか。
→ 令和元年度 10 月から消費税が増税となったためである。
- 業務計画書 9 ページの施設の利用計画について、令和元年度実績見込比で利用件数が増加しているが推計方法はどのようになっているか。
→ 開所日数を年間で令和元年度比 6 日増加して利用件数を推計した。
- 業務計画書 11 ページの別表の事務消耗品について、経費縮減した令和元年度の実績見込を反映させないのか。
→ ノートパソコンが老朽化により使用不可となり、令和 2 年度に新たに購入することを予定しているため減額しない。
- 高齢化により、就労継続支援 B 型から生活介護に移行する人はいるか。
→ 高齢化により ADL（日常生活動作）が下がる利用者もいるが、就労継続支援 B 型を利用することを誇りに思う利用者や保護者がいるほか、生活介護の定員に余裕がないため移行には至っていない。
- 就労継続支援 B 型と生活介護の利用者に交流はあるか。
→ 同じ施設でサービスを実施しているため、給食は同じ部屋で提供するなど、日常的に交流がある。

<審議の結果>

令和元年度(4月～12月)野田市心身障がい者福祉作業所業務報告書及び令和2年度野田市心身障がい者福祉作業所業務計画書について承認

(2) 令和元年度(4月～12月)野田市関宿心身障がい者福祉作業所業務報告書及び令和2年度野田市関宿心身障がい者福祉作業所業務計画書の審査について

<事務局から令和元年度(4月～12月)業務報告書及び令和2年度野田市関宿心身障がい者福祉作業所業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書 1 ページの個人情報保護のための方策について、個人情報の保管方法を具体的に教えてほしい。

- 書類は鍵付きキャビネットで保管し、鍵も所定の場所で保管している。パソコン端末は職員事務室でのみ使用している。
- 業務報告書1ページの施設の安全管理についての方策について、「消防設備や施設内の点検を毎月行い」とあるが、消防設備の点検を毎月実施したのか。
 - 委託業者による点検は年2回実施しており、職員による日常的な点検は毎月実施している。
- 業務報告書3ページの就労支援のための方策について、平均工賃が大幅に向上した要因は何か。
 - 下請作業の取引先を2社増やしたこと、新たに農業協同組合から購入したせんべいの販売を始めたこと、市のチラシ封入作業を受託したことで、作業収入が増えたためである。また、作業以外の活動時間を減らし、作業中心にしたことで作業時間が増えたことや、工賃の分配方法を生産量に基づいて変更したことも要因である。
- 具体的な工賃の分配比率はどのようになっているか。
 - 当初の分配比率が生活介護30%、就労継続支援B型70%だったものを、生産量に基づいて生活介護5%、就労継続支援B型95%に変更した。
- 市のチラシ封入とはどのようなものか。
 - 幼児教育の無償化に伴い、周知徹底を図るため各利用者に直接文書を配布した。文書については個人情報がなく、作業所で封緘した封筒に市職員が宛名シールを貼って送付した。
- 業務報告書8ページの法定点検の実施状況の点検結果について担当課で確認しているか。
 - 点検結果報告書の提出を受け、確認している。
- 業務報告書8ページの事故、要望又は苦情の対応状況について、令和元年6月20日に保護者からの意見が出たが、早急に対応しなければならない修繕箇所はなかったか。
 - 利用者が通常利用するに当たり、直ちに危険となる箇所はなかった。天井、壁、床等の建物全体に関する修繕となるため、利用者の利用にも影響が出ることから指定管理者と協議を続ける。営繕課の見解としても、大規模な修繕になることから、設計等含めて今後計画的に行う必要があるというものである。
- 業務報告書10ページの施設の利用状況報告について、つくしんぼの利用件数を大幅減と見込んだのはなぜか。
 - 月の利用回数が10回以上だった利用者が4月に退所したためである。

- ほかにも月10回以上つくしんぼを利用する方はいるか。
→ 現在もつくしんぼを月10回以上利用する方がおり、その利用者が退所するとつくしんぼの利用件数は大幅減となる。

- 業務報告書12ページの支出について、人件費減の要因は何か。
→ 時間外手当の削減によるものである。支援に支障がない範囲で時間内に書類作成等の事務作業を行い、時間外の会議の進行方法を工夫したことで時間外勤務の削減につながった。

- 業務報告書12ページの支出について、職員給料支出の減額における時間外削減の影響額はどれくらいか。
→ 決算見込額は、令和元年度予算比で991,142円の減額となっている。

- 業務計画書9ページの研修計画について、「法人内研修（コンサル）」の内容はどのようなものか。また、研修には7人参加予定としているが、現場に影響はないか。
→ 内容は、利用者の行動分析、データの取り方などを予定している。研修は時間外に実施するため、日中の支援に影響はない。

- 業務計画書10ページの施設の利用計画について、リサイクルの件数が大幅に増加した理由は何か。
→ 令和元年度は週1、2回の利用だった方から利用回数増の希望があったため増加している。

- 業務計画書12ページの支出について、人件費の職員給料支出を426,341円減額としたのはなぜか。
→ 令和元年度の実績見込に基づき、令和2年度見込を減額とした。主な増減理由は、職員の定期昇給による増額と時間外手当の減額である。ただし、時間外手当については、清掃業務を受託できるようになると令和元年度より時間外手当が増えることも想定した上で、全体としては減として算出した。

<審議の結果>

令和元年度(4月～12月)野田市関宿心身障がい者福祉作業所業務報告書及び令和2年度野田市関宿心身障がい者福祉作業所業務計画書について承認

3 閉会